

研究会報告書

1. 研究会タイトル：Flavor Physics Workshop 2019
2. 開催日：2019 年 11 月 19 日 - 22 日
3. 開催場所：かんぽの宿富田林（大阪府 富田林市）
4. 開催者
 - 大阪市立大学南部陽一郎物理学研究所
 - 大阪大学核物理研究センター
 - 科研費新学術領域「ニュートリノ」
5. 参加者：60名（大学院生 29名、スタッフ 31名）

6. 経費および RCNP からのサポート

RCNP 研究会予算分	国内旅費(大学院生 4 名)	223,840
大阪市大・NITEP	国内旅費(大学院生 4 名)	381,320
新学術(ニュートリノ)	会場代	77,000
	国内旅費(スタッフ 2 名)	約 100,000
会議参加費	雑費：配送料、懇親会会場代、お菓子、文具等	約 44,000

7. 世話人

岩崎 昌子(代表) (大阪市大・NITEP、阪大 RCNP)、中野 貴志、堀田 智明 (阪大 RCNP)、清矢 良浩、中野 英一、丸 信人 (大阪市大・NITEP)、石川 明正、金児 隆志、西田 昌平、三宅 秀樹 (KEK)、小貫 良行 (東大)、加藤 悠司、松岡 広大 (名大)、瀧澤 誠 (昭和薬大)、早坂 圭司、遊佐 洋右 (新潟大学)、樋口 岳雄 (東大 IPMU)、宮林 謙吉 (奈良女子大学)

8. 研究会の WEB サイト

<https://indico.rcnp.osaka-u.ac.jp/event/1383/>

9. 研究会の概要

本 workshop では、B, charm, tau などのフレーバー物理に加え、より広域なテーマも取り扱い、大学院生、若手研究者が、理論、実験に関して最新の研究動向を学び、理解を深めることを目指している。理論・実験の第一線で活躍されている研究者の方々による講義と、学生・若手研究者を中心とした口頭・ポスター発表を行い、さらに、参加者投票による Best Talk/Poster 賞の選出も行った。講義については、修士課程学生向けの素粒子物理学入門、測定器・加速器、BelleII 実験と、それに関連する物理（理論・実験）、ハドロン物理、さらに、ワークショップが大阪で開催されることをいかして、関西地区の大学が参加しているプロジェクトに関する講義、また、情報科学分野の先生による、最先端機械学習の講義も企画した。

講義リスト：

- 素粒子物理学入門 救仁郷 拓人 (KEK)
- 測定器 坪山 透 (KEK)
- 加速器 植木 竜一 (KEK)
- 標準理論 山中 真人 (阪市大 NITEP)
- Dark sector 下村 崇 (宮崎大)

- Belle II 実験と、それに関連する物理
 - 理論 北原 鉄平 (Technion/名大)
 - 実験 遊佐 洋右 (新潟大) 林井 久樹 (奈良女)
- ハドロン物理 保坂 淳 (阪大 RCNP)
- KOTO 実験 山中 卓 (阪大)
- T2K 実験 (+HyperK) 中家 剛 (京大)
- 機械学習 中島 悠太 (阪大 IDS)

20以上の大学・研究機関から60名が参加し、一般講演21件、ポスター発表13件が行われ、活発な意見交換が行われ、大変盛況であった。



RCNPから頂いた研究会の予算は、遠方かつ発表を申し込んだ大学院生の旅費として支給しました。予算のサポートに加えて、センターからは多岐にわたる多大なご援助を頂き、心から感謝申し上げます。